

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

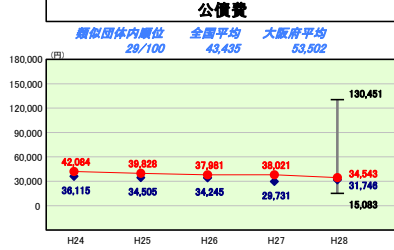
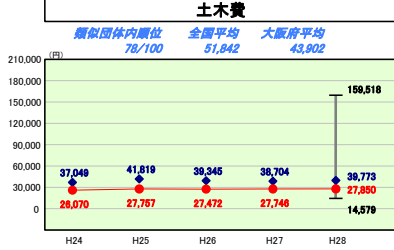
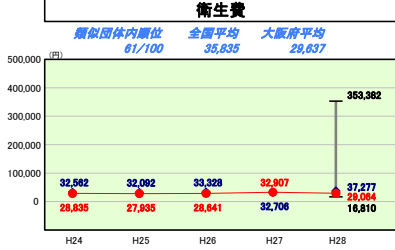
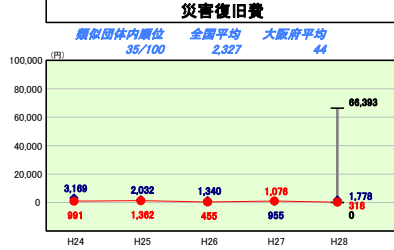
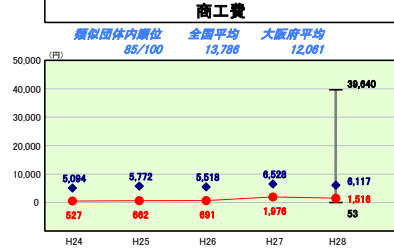
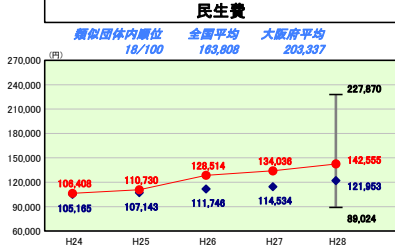
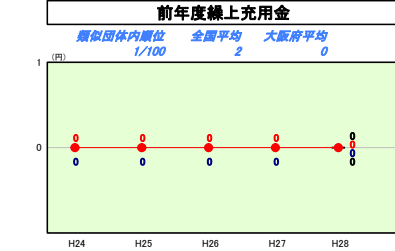
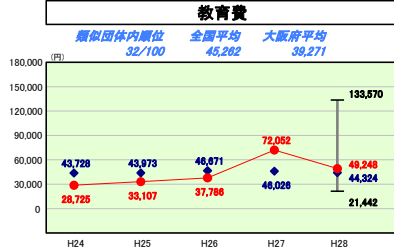
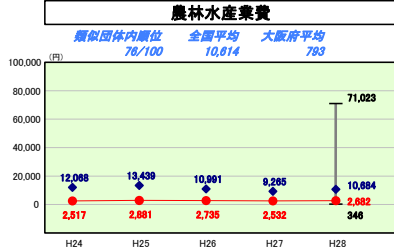
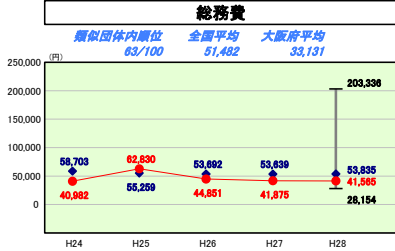
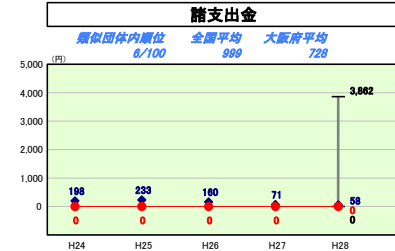
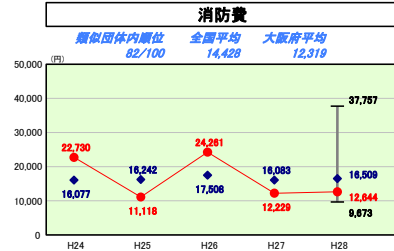
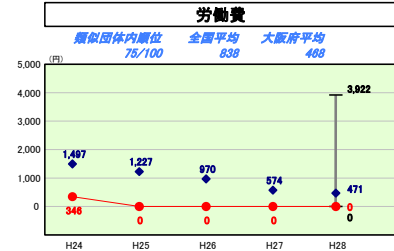
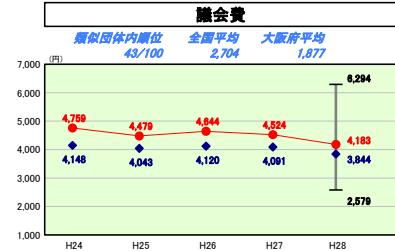
平成28年度

大阪府島本町

人口	30,667人	(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	30,480人	(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	16.81km ²		実質公債費比率	5.6%
歳入総額	10,702,678千円		将来負担比率	-%
歳出総額	10,615,944千円		市町村類型	H24 V-2 H25 V-2 H26 V-2
実質収支	55,401千円		(年度毎)	H27 V-2 H28 V-2
標準財政規模	6,525,589千円			
地方債現在高	10,965,114千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

住民一人当たりのコストが大きい順に、民生費、教育費、総務費、公債費、衛生費となっている。
 民生費については、平成28年度に介護施設等の施設整備に対する補助を行ったため増加している。
 教育費については、前年度に教育施設の耐震事業等を行ったことから減少しているが、今後、町内の開発に伴う校舎の増築工事等により増加が見込まれる。
 公債費については、償還が進んでいることから減少傾向にあるが、今後、教育施設の耐震事業等に係る財源として発行した町債の償還が始まることから、増加が見込まれる。
 衛生費については、前年度に例年より大規模な清掃工場の改修を行ったことから減少している。平成30年度から31年度にかけては、し尿処理場の除却を行うことから増加が見込まれる。